

人口減少時代の 公務員“生き残り術”

令和2年2月6日
埼玉県所沢市

こむらさき まさし

奈良県生駒市長 小紫 雅史





みんなで創る、日本一楽しくて住みやすいまち「いこま」



自己紹介







みんなで創る、日本一楽しくて住みやすいまち「いこま」





今日お話ししたいこと

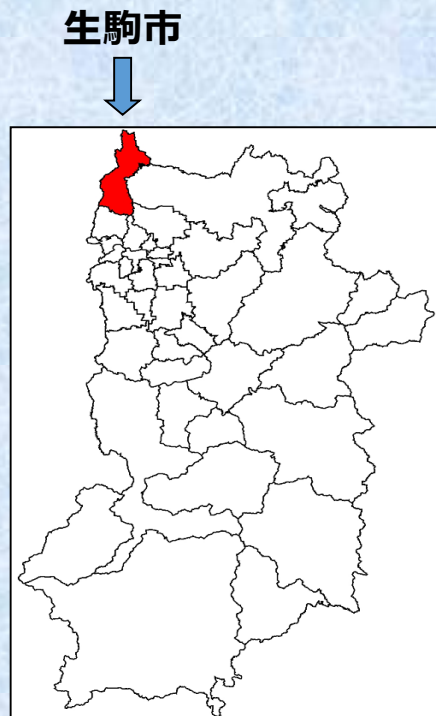
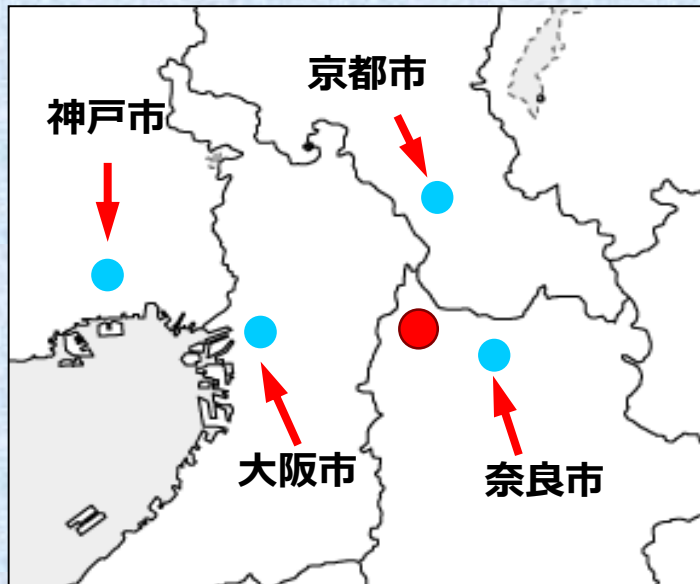
- I 生駒市について
- II 10年後の公務員・自治体
- III これからの公務員に求められる力
- IV 自治体3.0とワークライフコミュニティバランス
- V おわりに



I 生駒市について



近畿の中心、けいはんな地域



◇人口 119,483人 (市制施行後約3倍)

◇面積 53.15km²

◇大阪都心部まで電車で約20分

◇県外就業率 全国2位

◇小中学生の学力 全国トップレベル

◇治安の良さ 関西1位

生駒の観光資源



奈良先端科学技術大学院大学



生駒山上から眺める
大阪平野の夜景



高山茶釜



生駒ケーブル



宝山寺(生駒聖天)





**喫煙後すぐの
エレベーター利用は
ご遠慮ください**



喫煙後呼気による受動喫煙を防ぐため、
喫煙後45分間はエレベーターの利用をご遠慮ください。



UDフォント

一般的な教科書体

山追令心さり

ゴシック体

山追令心さり



UDデジタル教科書体

山追令心さり



全国初「ふるさとレガシーギフト」

まちへ恩返ししたいという“**思い**”を“**かたち**”に
ふるさとへの**相続**



本当に魅力ある市区町村ランキング

奈良県1位
(ダイヤモンド社)



Ⅱ 10年後の公務員・自治体



10年後を見据え、“今”行動する

- ① 10年後の社会と公務員・自治体への影響を予想
- ② 変化を踏まえ、必要な力や専門性を身につける
- ③ 公務員を辞めても食べていける社会人になる



1. これまでの常識は**非常識**

- AIやITにより、公務員の仕事の約60%が消滅
- 市民が役所に来なくなり、窓口業務は消滅
- オープンデータにより行政サービスは市民が作り出す時代に
- 根回し不要。AIが議会答弁を書く？



2. 入口と出口の**多様化**

- 公務員試験はなくなり、「公務員志望」「民間志望」は死語に
- リボルビングドアでの採用が増え、
新規採用者数は激減
- 「副業」「一億総公務員時代」
専業公務員は少数派に



3. 少数精鋭の組織マネジメント

- 公務員数は一気に減少
 - 終身雇用や年功序列はまもなく崩壊
 - 自治体業務の民間委託が加速
- ⇒ まちづくり会社がまちの課題を担う
- 庁舎がなくなる
 - 国・都道府県と市町村は真に対等な関係に



4. 自治体も「稼ぐ」～運営から経営へ～

- コストカットではない「真の行政改革」
- ふるさと納税以外の新たな寄付
- 一石三鳥の空き家対策
- 官民連携で地域消費率を上げる
- 行政データの利用で行政サービス革命を
- 自治体が電力会社や民間サービス事業を展開



5. **国際化**というビッグチャンス

- 新興国のインパクトはますます大きくなる
- 観光客は海外から直接誘致
- 地元の名産品も世界なら高く売れる
- 世界の先進事例を学ぶ
- 語学力、プレゼンテーションよりも大切なものがある



Ⅲ これからの公務員に 求められる力



社会の変化と公務員の役割①

- 「新しい公共」の活性化
- リタイア層・主婦層の地域デビュー
- 現役世代のサードプレイス
- 学生等による実学志向（インターン・地域活動）
- CSRからCSV経営へ



汗をかいてくれる
市民や事業者の増加



社会の変化と公務員の役割①

「協創」力



「チーム○○」

を築く力



社会の変化と公務員の役割②

- 人口減少・少子高齢化・財政の悪化・職員数減
- 市民ニーズの多様化、専門化
- 地方創生 ●ITやAIの発展 ●新興国などの影響



国の方針に基づいた対応だけでは
自治体は**衰退・消滅** ● 現状維持は
「後退」



独自の工夫、事業者との連携で変革しつづけることが不可欠



社会の変化と公務員の役割②

「**始動**」力



0→1を生み出す
リーダーシップ



副業（地域貢献活動）の促進

地域貢献やまちづくり活動で**報酬**を得ることも可能

- 地域貢献活動であり、報酬を伴うもの（市内・市外は問わない）
- 採用2年目からの職員が対象
- 許可基準
 - ・ 勤務時間外、週休日における活動であること
 - ・ 生駒市との間に特別な利害関係がなく、職務の公正の確保を損わないこと。
 - ・ 営利を主目的とした活動、宗教的活動、政治的活動、法令に反する活動でないこと
 - ・ 報酬は、地域貢献活動として許容できる範囲



普段の職場での本業 ≠ 風土も文化も異なる
コミュニティでの活動



多様な価値観を持つメンバーと活動するという経験
が得られるとともに、そこで築かれたネットワーク
は本業にも活かせる。



様々な市民・事業者を巻き込んで共に汗をかく本業
において必要な、チーム〇〇を築く力（**協創力**）の
育成につながる！



公務員が本業で
行うべき事業

≠

異なる分野・アプローチで
まちづくりや地域貢献活動



役所の古い常識・慣習に縛られない、自由に新しい
手法で取り組む経験が得られる



これからの市役所業務に必要な、0→1を生み出す
リーダーシップ（**始動力**）の育成につながる！



地域に飛び出す公務員を増やす！

- まちづくりNPO
- 地域情報化アドバイザー
- スポーツコーチ
- 大学等での救命講習



IV 自治体3.0とワークライフ コミュニティバランス

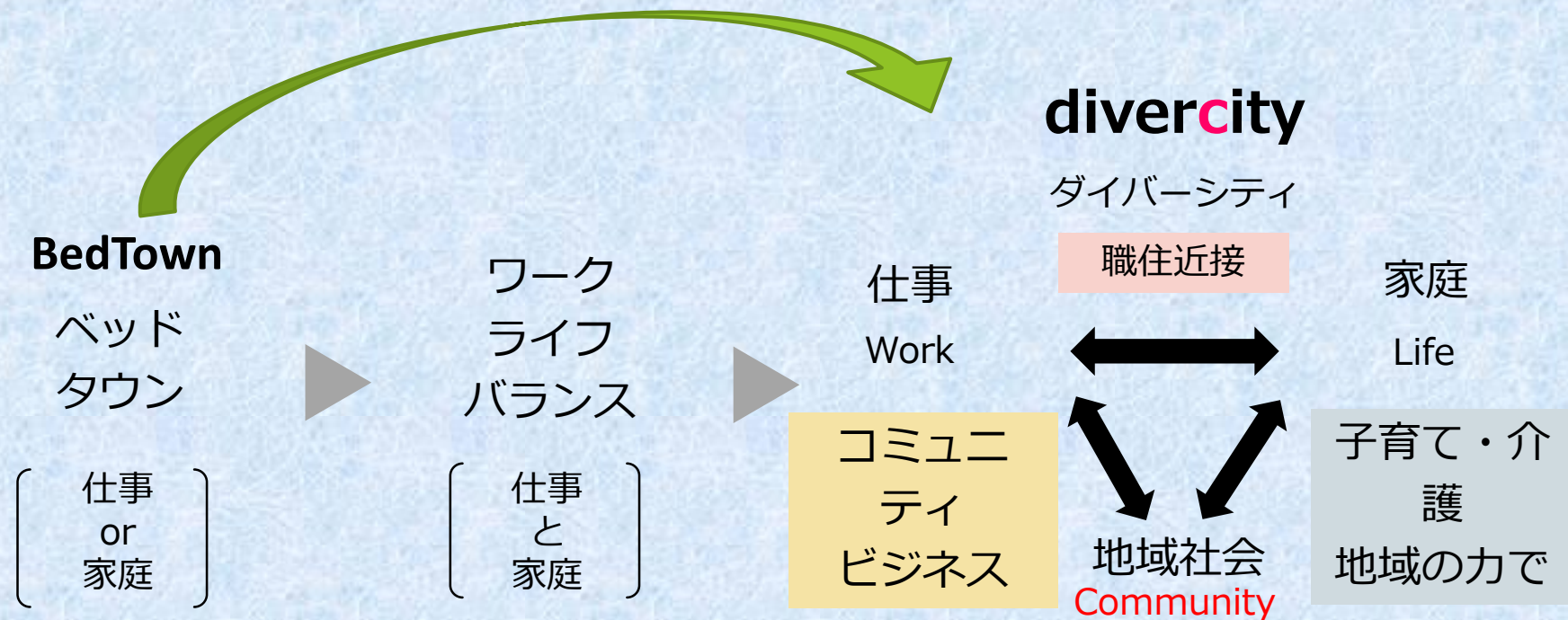


自治体3.0のまちづくり

	自治体2.0	自治体3.0
市民との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 = お客様 ・ 行政主導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と共に汗をかく ・ 協創
基本目的	差別化	価値創造
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに応える行政 ・ 民間企業に負けない！ ・ 「市民満足」の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちを楽しむ！ ・ みんなの課題はみんな で解決！
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外の人を呼び込む！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内在住者の満足度 ↑ ・ (結果として) 転入増



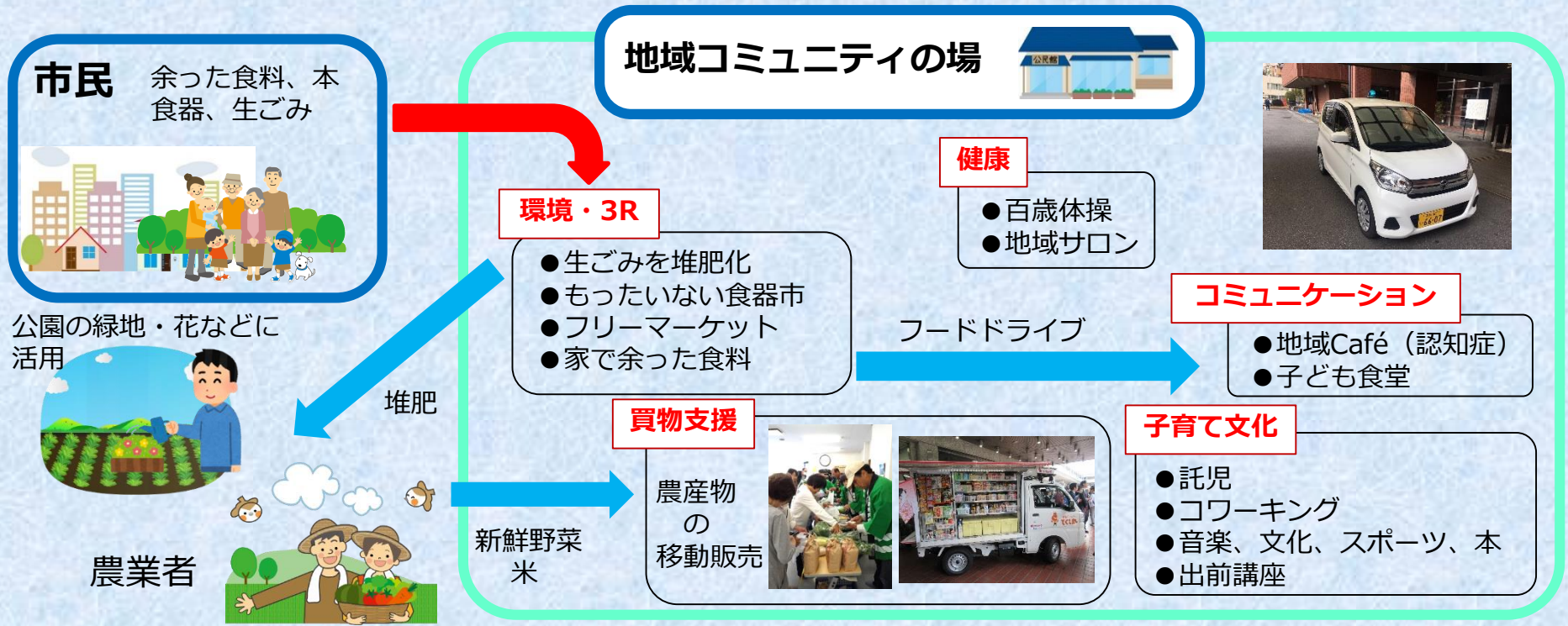
ワーク・ライフ・コミュニティの融合



生駒市の定住意向率: **84.7%**



100の複合型コミュニティづくり



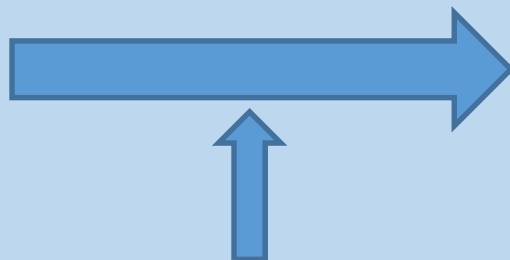
最大の移動・生活支援を市民・事業者による運営で実現！



まちづくり会社

定期的な
ブレストの場

(誰でも参加可能)



アイデアを
具体化

人 ・ お金
(チーム化) (収益確保、人材採用、
市民がまちに寄附)

このような活動を繰り返し、街を活性化し続ける
プラットホームが不可欠



V おわりに



終身雇用はいずれなくなる



公務員をやめても**稼げる**

でも、

まちづくりが楽しいからやめない

そんな人材が求められる

